

第2回 相模原市議会史編集会議 次第

日 時 令和8年1月7日(水) 11時から
場 所 相模原市役所本庁舎2階
議会応接室2

1 開会

2 議会史編さん事業の経過報告

- (1) 明治大学との契約について …資料1
- (2) 執筆に係る状況について …資料2～4
 - ア 議会史編さん事業説明会(10月25日)の実施報告
 - イ 執筆の役割分担等
 - ウ 執筆に係る資料提供

3 議題

- (1)『相模原市議会史 記述編』執筆要綱(案)について …資料5-1、5-2
 - ア 編集方針
 - イ その他の内容
- (2)今後の編集会議の協議事項について …資料6

4 その他

- ・議会史編集委員の更新について (令和8年4月以降)

5 閉会

相模原市議会史の編さんに係る調査研究委託

◎本契約の概要

【契約日】 令和7年10月10日

【受託者】 学校法人明治大学 理事長 柳谷 孝

【委託者】 相模原市 市長 本村 賢太郎

【契約金額】 3,000,000円

【研究期間】 令和7年10月10日から令和8年3月31日まで

※契約は議会史（昭和54年度～平成30年度まで）の原稿完成まで継続します。

◎委託研究計画書 一部抜粋

【研究目的及び内容】

戦後の昭和29年に人口約8万人で発足した相模原市について、人口40万人を超えた昭和50年代以降を対象に、昭和の後期から平成への変遷とともに展開された市議会の活動の歴史について調査研究をおこなう。また、研究の成果は、将来を担う世代への「主権者教育」にも活用することを目指す。

【研究担当者】

明治大学自治体政策経営研究所（研究代表者：牛山 久仁彦 政治経済学部専任教授）

【研究実施項目】

- ①相模原市議会の活動記録（昭和54年度～）の収集・分析
- ②相模原市議会史の執筆
- ③調査研究実施報告書の作成

相模原市議会史編さん事業説明会 議事録					
年月日	令和 7 年10月25日(土)	開会	午後2時00分	閉会	午後5時40分
出席者	別添執筆者一覧のとおり		議 会 局	坪井 議会局次長兼政策調査課長、 金井 総括副主幹、天野 主任、 小寺 主任、兼尾 主事、 飯干 主事、山田 主事	
欠席者	東海大学政治経済学部教授 前田 成東				
議事の記録	以下のとおり				
<p>次第に沿って、会議を進行した。</p> <p>1 ごあいさつ 明治大学政治経済学部教授 牛山久仁彦先生より、開会にあたってのあいさつを行った。</p> <p>2 事業実施者・関係者、執筆者の紹介 執筆等に携わる先生方及び政策調査課職員の紹介を行った。</p> <p>3 相模原市議会史編さん事業概要について 議会局より事業の概要について説明を行った。 <主な意見等> (牛山先生)相模原市の人口は 8 万人から 40 万人になって、さらに合併を経て 70 万人になり、急成長してきた市なので、人口増加と合併という大きな事業を成し遂げた流れがある。その中でもいろいろなトピックがあると思うので、いろいろと拾い出しながら、書いていただくことになる。議会史の作業は非常に地道な作業である。政策調査課から資料を提供いただき、執筆にあたる皆さんにもいろいろと研究していただきたい。執筆分担等については、改めて相談したいと思っているが、二人一組で執筆と資料収集を分担してできないかと考えている。</p> <p>(中村先生)全体で一斉に取り組むのだろうが、定期的に打合せ等、進捗度を確認する場が必要になると思う。また、内容面では、担当者が違うと表記の仕方も異なるのかと思う。その調整やスケジュール等はどうするのか。 ⇒(政策調査課)原稿の作成を令和11年頃までに完成させる中で、編集会議や議員で構成された編さん委員会を随時開催し、原稿の内容を確認していただこうと考えている。</p> <p>(中村先生)資料で足りないものがあれば、政策調査課にお願いすれば問題ないか。 ⇒(政策調査課)今回渡した提供資料一覧にあるものについては、今回お送りする資料と、揃い次第送るものがある。それ以外に必要な資料については、政策調査課に連絡いただきたい。</p>					

(牛山先生)5期20年を、大体5年ぐらいに分けて、1年に大体2万字ずつ書くことを繰り返していくということだが、やはり執筆者が違っていると書きぶりが統一されないということがある。折を見て、執筆者で集まって中身を確認しながら進めたいと思う。また、編さん委員会や編集会議で執筆状況を報告しながら、意見のフィードバックを行い、進めていくことになるだろう。

(中村先生)1冊ずつ仕上げていくのか、一斉に取りかかるような感じなのか。

⇒(牛山先生)年度ごとに担当を割り振り、昭和54年～57年は1年目に書いてもらう。最後に委託業者が入って校正等を行い、完成される。

⇒(政策調査課)それぞれ一斉に取りかかると進行状況がバラバラになってしまい、まとめるのに手間がかかることも想定される。記述編Ⅲを、資料2の5ページの計画のとおり仕上げていきたいと考えている。

(中村先生)私たちは任期が令和11年度までであり、記述編ⅢもⅣも担当するというような認識でよろしいか。

⇒(政策調査課)その認識で合っている。

(山岸先生)以前の執筆時に、先生方が苦勞されたことなどの記録があったら教えていただきたい。

(牛山先生)私が(他自治体の)議会史や市史をやったときとオンライン環境は全く違い、資料は全部現物なので、委託業者に入ってもらおうというのが多かった。その点、今はメールやUSBで渡せる点でいえば、随分と楽になった。

(吉澤先生)執筆にあたって、最低限のルール、例えば和暦を使うなど、そういうものは事前に提示してもらえるのか。

⇒(政策調査課)牛山先生と相談をさせていただき、執筆要綱のようなルールをお示ししたい。

(黒石先生)(提供資料一覧について)議事録の提供方法は調整してからということだが、今回の執筆期間にあたる、昭和54年のものはホームページ上に議事録として公開されているものではなく、紙媒体で提供される可能性が大きいのか。

⇒(政策調査課)過去8年分は誰でも見られるようになっているが、それよりも古い部分については市職員以外がどこまで使えるかというのを現在確認中である。

(黒石先生)できれば検索ができるような形で配慮いただきたい。実際、過去のものを拝見すると議事録の引用でそういうものが必要になってくるかと思う。

(山岸先生)写真を入れたいという判断は、私たちができるのか。

⇒(政策調査課)古い写真は、紙ベースをデジタル化することになると思うが、希望に合う写真を提供できるかは難しいところであるので、個別の相談になる。

(高橋先生)倫理的なことなど、当時と多少違ってきている。例えば、『〇〇議員、半年足らずで辞職』という表記(言葉遣い)は、今の時代にどうなのかということがある。そういうものに関する注意事項をまとめていただきたい。

(三上先生)トピックスとして、基盤整備や教育などを項目立てしているが、活動経過を書いていく中で、年度で分けたほうがいいのか、執筆分担がなかなか難しいと感じる。

⇒(牛山先生)具体的な執筆分担や項目立てについては改めて行いたい。

質疑終了後、議場の見学を行った。

4 40年間の相模原市の変遷について

(1)変化を続けてきた相模原市(概要)

議会局より資料に基づいて説明を行った。

- ・相模原の地勢
- ・相模原市誕生時の情勢
- ・相模原市の沿革(昭和54年～平成31年)

<主な意見等>

特になし。

(2)平成時代の相模原市議会回想談

佐藤賢司氏、岸浪孝志氏より、議員時代の出来事等についてお話しいただいた。

<佐藤氏からのお話の概要>

・今回の編さんが昭和54年からであり、私が昭和58年から議員を勤めているから、ちょうど該当の時期でもある。議会というのは、賛成・反対などだけでなく、人間的な部分が裏にある。先生方にはぜひ、事実の羅列だけでなく、「あたたかい議会史」をつくってほしい。巻頭言でも、終わりの言葉でもいいので、先生方の正直な気持ちや相模原に対する思いがあると非常に良い議会史になるのではないかと。事実を曲げることはできないが、先生方の将来に向けた思いを乗せてほしい。

・初当選したとき、定数46人のうち私の会派は26人と多くの数を占めていた。しかし、合併の動きなどをマスコミが取り上げることで、世の中が政治に興味を持ってきて、選挙に新しく立候補する方々が増えてきた。平成に入ると、最大会派だったものが20人を切るようになり、議会の転換期でもあった。そのため、議会が活性化し、議会条例など議員が様々な提案をするようになった。

・今回の編さんする時代は、新しい人、新しい感性がたくさん入ってきた、相模原市議会が一番変わった時代である。政策調査課には充実した資料、情報提供をお願いしたい。

・次の世代に、相模原の将来がより良いものとなるような、希望が持てる議会史をつくってほしい。

<岸浪氏からのお話の概要>

○議会改革について

・平成7年に初当選した当時は、地方分権改革に関する話題が増え、議会も変わらないといけないという機運が高まっていた。行政では都市経営の話がこの頃から上がってきた。

・平成8年には会派が分裂し、新しい政策集団を標榜した。その後、議会改革を進めていこうという中で、議長の任期を2年にしないといけない話が上がった。その後、議長の不信任案を出すなど大変なこともある中で、議会改革検討委員会を作り、会議録検索システムや放映システムの導入などの議会改革に関する事項を幾度となく検討を重ねた。

・平成15年には議会制度検討協議会を設置した。ここでは議会運営委員会を常任委員会と同様の制度にするように検討した。また、中核市移行に伴い、牛山先生には様々なことを教えてもらった。

・平成18年には代表質問制度を導入した。当時は反対の声もあったが、なんとか今の形に整えた。同時期に、合併に伴った議員定数の問題もあがった。当時は定数52人だったものを、合併後には49人、46人と定数を削減していった。さらに議会改革として、通年議会になったり、答弁の一問一答方式が導入されたりなど、大きく変わっていった。

○条例について

・条例の面では、委員会提案の条例や議提議案の条例などが多く可決された。条例の名前も、牛山先生にアドバイスをいただきながらつくった。

・議会基本条例は、北海道栗山町を起点に様々なところでつくられていった。当時は倫理条例との関係も含めて議論をし、これも牛山先生に指導いただきながら取り組んだ。

・合併のときは、深夜議会というものがあり、傍聴者も入れないほど集まった中で合併の賛否について夜中の3、4時まで行った。別の議会では事前通告なしで政令指定都市に関する答弁を繰り返したこともあった。

○選挙について

・平成31年の市議会議員選挙では、南区の最下位当選者と次点の当選者との1票の差があった者が3人出て、異議申し立てがあり、最高裁まで争ったことがある。4年後の選挙では中央区から最下位と次点が同数となり、くじ引きで当選者を決めたことがあるなど、選挙においても印象深い出来事があった。

<質疑等>

(黒石先生)

①議員の経験の中で一番印象に残っている市政のテーマは何か。

②議会の最前線から一旦遠のいた今の立場から見て、市制あるいは市議会がどのように変わってきたか、率直な意見を教えてほしい。

⇒(佐藤氏)

①合併の式典が開かれたとき、当時の小川市長は体調の悪い中、車いすで登壇した。その際に市長は県知事に「次は政令市になるんだ。ぜひ頼むよ。」と言っていた。「私が(政令市移行まで)やるから」とうような、ひとつのポリシー、執念が垣間見えた。

②本会議が放送され、全部がインターネットで見られるようになってから、色々な制約を受けているように感じてしまい、議員の粒が小さくなっているように思う。SNSの

普及で選挙活動の在り方も変わっていき、果たして平等な選挙になっているのか不安である。

⇒(岸浪氏)

①行政改革のテーマが印象に残っている。都市経営の概念を導入するために、企画部長や市長と何度も検討した。アクションプランを作る中で、項目+取り組み期間を明示すること、そしてどれくらいコストがプラスになったかの評価を入れたというような行政改革を行ったことが強く記憶に残っている。また、神奈川県議会議長が津久井4町出身だったため、合併反対だった。その中で合併に取り組んだことも議長期間での記憶に残っている。

(山岸先生)

①合併により議員の構成が変わり、議会にどのような影響を受けたか。

②政令市になったことにより、議会のうごきや変化はあったか。

⇒(佐藤氏)

①町の場合は県議会議員が重要な存在だった。しかし、合併によって行政が短縮化されたことは、町民にとってプラスになったのではないか。(単独で予算が組めるなど)

②政令市になると国の直結の施策が受けられる一方で、地方自治の裁量がいまだに国にある部分も多い。政令市はぜひ国に提案をして、政令市の位置付けをちゃんと決めないといけない時期に入ったと思う。

⇒(岸浪氏)

①議員間討議を重視しようという動きがあった。議員のスキルを上げていこうという時代だった。

②一般質問の一問一答方式の導入が大きな変化だった。インターネット中継をするようになり、傍聴者も含めて本会議を見ている人にとって、一問一答方式の方が非常にわかりやすくだらうという視点をもって、導入に至った。

5 懇談

牛山先生による進行で、本日の説明会を通じて思ったことなどを話し合った。

<概要>

(中村先生)私の認識でいうと、合併吸収された地域は廃れていく、合併しない方がよかった、というような議論があるが、今日の話を知っていると、合併後も各地域を見捨てずにやっているところから、相模原市は非常にあたたかいところだと感じた。その意識について、改めて議員を経験されたお二人にお伺いしたい。

(佐藤氏)合併後も「合併しなければよかった」という意見は事実としてあった。4町は伝統のまちであり、自分たちが繋いできたことが壊されるのではないかという心配や抵抗の声が多かった。だからこそ、合併協議会で何度も話し合った。政令市になり、行政面では非常にやりやすくなったと思う。本市は交通の利便性があったから、合併もやりやすかったのではないか。

(中村先生)以前よりも行政サービスは向上したと考えてよろしいか。

(佐藤氏)私はそう思う。交通においても、津久井4町で路線バス廃車の話があがった中で、市でコミュニティバスを計画することでフォローした。市側が、将来のためにも

合併しようと誘った。

(中村先生)おそらく全国的にも稀なケースなのではないか。

(牛山先生)他県の事例を見ても、相模原市は面白いところである。他自治体の保守的な議員はなにもしないが、相模原市の議員は「やろう」という声が多かった。条例等も前向きに議論してきた。合併も、津久井4町の行政サービスを下げたはいけないという考えのもと、前向きに議論してきた。(城山の学校給食を市全体に広げたり、津久井地域に優秀な職員を配置するように市長に要望したりなど。)合併後に、津久井の住民にサービスが上がった項目と下がった項目を調査したら、上がった項目は約30個あって、下がった項目は約11個だった。結果を見れば歴然である。合併が成功した事例というのも、相模原市ぐらいではないか。もちろん、議会でも合併に反対という政党はいたが、それも議会の面白さ、重要なポイントだと思う。

(佐藤氏)旧市でも財源の面で不安や反対の声があった。しかし、私は将来的にメリットが返ってくるだろうと思った。これからのために、指定都市市長会などの団体を活用して、国に要望を出していくべきだと思う。

(三浦先生)政令市移行についての反対論や、できるようになったことがあれば教えていただきたい。また、政令市になり行政区が選挙区になったが、選挙のありようや、議員一人一人のありようなどに影響があったか伺いたい。

(佐藤氏)選挙区が変わったことで自身にとっても非常に不利となった。しかし追い込まれるほど努力するものでもあったから、なんとかしてきた。定数の話でも、反対の意見が出て非常に議論を交わした。さらには区の名前でも議論した。「北区」だと冷たい印象があるという住民の方からの意見もあり、最終的に津久井郡の緑を優先して「緑区」となった。

(岸浪氏)合併に関しては、地理的な面で橋本、相模原、相模大野とでは生活圏が異なるから、津久井4町もそのうちのひとつにしか感じなかった部分もあると思う。議会の中でも保守第1会派がリードしていて、議論があちこちに行くことはなかった。

(牛山先生)先ほど両先生からお話があったように、政令市になって選出される議員の質が変わるといふようなところは、議会史の執筆に際し注意していただければと思う。佐藤先生からも「あたたかい議会史をつくってほしい」という話があったので、読み応えのある、あたたかい議会史に向けて頑張っていきたい。

6 その他

政策調査課から提供資料に関する説明を行った。

<主な意見等>

特になし

以上

相模原市議会史 執筆者名簿

(敬称略)

	氏 名	所 属 等
1	うしやま くにひこ 牛山 久仁彦	明治大学 政治経済学部 教授
2	まえだ しげとう 前田 成東	東海大学 政治経済学部 教授
3	たかはし さちこ 高橋 幸子	西武文理大学 看護学部 教授
4	なかむら としひこ 中村 稔彦	長野県立大学 グローバルマネジメント学部 准教授
5	やまぎし えみり 山岸 絵美理	大月市立大月短期大学 准教授
6	くろいし けいた 黒石 啓太	北九州市立大学 法学部 准教授
7	みうら まさし 三浦 正士	長野県立大学 グローバルマネジメント学部 講師
8	みかみ まさつぐ 三上 真嗣	長野県立大学 グローバルマネジメント学部 講師
9	よしざわ ゆうき 吉澤 佑葵	公益財団法人 日本都市センター 研究員

相模原市議会史 記述編Ⅲ (5期20年:S54～H10年度)

選挙

資料3

S54年度 市議会活動経過 → S55年度 市議会活動経過 → S56年度 市議会活動経過 → S57年度 市議会活動経過

S54.4.22

執筆担当

.

S58年度 市議会活動経過 → S59年度 市議会活動経過 → S60年度 市議会活動経過 → S61年度 市議会活動経過

S58.4.24

執筆担当

.

S62年度 市議会活動経過 → S63年度 市議会活動経過 → H元年度 市議会活動経過 → H2年度 市議会活動経過

S62.4.26

執筆担当

.

H3年度 市議会活動経過 → H4年度 市議会活動経過 → H5年度 市議会活動経過 → H6年度 市議会活動経過

H3.4.21

執筆担当

.

H7年度 市議会活動経過 → H8年度 市議会活動経過 → H9年度 市議会活動経過 → H10年度 市議会活動経過

H7.4.23

執筆担当

.

市議会と市政

1

2

3

4

5

執筆担当

.

執筆担当

.

執筆担当

.

執筆担当

.

執筆担当

.

相模原市議会史 記述編Ⅳ (5期20年:平成11～平成30年度)

選挙

H11年度 市議会活動経過	→	H12年度 市議会活動経過	→	H13年度 市議会活動経過	→	H14年度 市議会活動経過
------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------

H11.4.25

執筆担当
.

H15年度 市議会活動経過	→	H16年度 市議会活動経過	→	H17年度 市議会活動経過	→	H18年度 市議会活動経過
------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------

H15.4.27

執筆担当
.

H18.4.23

H19年度 市議会活動経過	→	H20年度 市議会活動経過	→	H21年度 市議会活動経過	→	H22年度 市議会活動経過
------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------

H19.4.22

執筆担当
.

H23年度 市議会活動経過	→	H24年度 市議会活動経過	→	H25年度 市議会活動経過	→	H26年度 市議会活動経過
------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------

H23.4.10

執筆担当
.

H27年度 市議会活動経過	→	H28年度 市議会活動経過	→	H29年度 市議会活動経過	→	H30年度 市議会活動経過
------------------	---	------------------	---	------------------	---	------------------

H27.4.12

執筆担当
.

H31.4.7

市議会と市政	
1	_____
2	_____
3	_____
4	_____
5	_____

執筆担当
.

執筆担当
.

執筆担当
.

執筆担当
.

執筆担当
.

一次提供資料：12月上旬に発送
二次提供資料：12月下旬に発送

資料4

議会史執筆に係る提供資料一覧

資料名	内容	形式	提供時期分類	備考
相模原市議会史 記述編Ⅰ	前回出版したもの（主に、M22年からS38年度までの年度毎に市議会の活動などを記述）	紙	一次提供	
相模原市議会史 記述編Ⅱ	前回出版したもの（主に、S39年度からS53年度までの年度毎に市議会の活動などを記述）	紙	一次提供	
相模原市議会史 資料編Ⅰ	前回出版したもの（主に、市議会の活動に関する資料、法規、議決事項、諸統計など）	紙	一次提供	
相模原市議会史 資料編Ⅱ	前回出版したもの（主に、S16年度からS53年度までの議会記録の資料。諸名簿、選挙、主要問題、施政方針、統計など）	紙	一次提供	
相模原市議会史 年表編	前回出版したもの（M22年からS53年度まで）	紙	一次提供	
相模原市議会 年表 ～議会史の編さんに向けて～	政策調査課職員作成：年表（主にS54以降の市議会の動き、相模原市内、国内のできごとを取りまとめたもの）	紙	一次提供	
会議録【会議録検索システム】	会議録を閲覧するためのシステム（検索機能付き）	その他	随時提供	【会議録検索システム】 リンク、アカウントID・PWを提供
相模原市と米軍基地	市発行：本市と米軍基地の取り巻く諸問題	PDFデータ	一次提供	
合併の記録	市発行：相模原市、城山町、津久井町、相模湖町、藤野町の合併までの経緯を取りまとめたもの	紙	一次提供	
議案議決事項(含議定、委員会、諮問事項、県知事提出議案)	S54年度からH30年度までの議決事項の一覧	Excelデータ	一次提供	
意見書・決議等(一覧)	S54年度からH30年度までの意見書・決議等の一覧	Excelデータ	一次提供	
意見書・決議等(本文)	上記意見書・決議等の本文	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-1新人口及び世帯数	相模原市の統計資料	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-2新地区別、出張所人口及び世帯数	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-3新人口の自然動態	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-4新人口の社会動態	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-5新年齢別人口（国勢調査報告）	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-6新昼間人口	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-7新産業別15歳以上就業者数（国勢調査報告）	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 2-9新外国人住民人口	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 3-2新職員定数	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 4-1一般、特別会計決算	同上	Excelデータ	一次提供	
行財政統計 4-2財政状況の推移等	同上	Excelデータ	一次提供	
請願・陳情	S54年度～H30年度までの請願・陳情の一覧	Excelデータ	一次提供	
傍聴者数	S54年度～H30年度までの傍聴者数（本会議と委員会）	Excelデータ	一次提供	
議会事務局の変遷	議会局の組織・職員数の変遷	Excelデータ	一次提供	
県六市競輪組合議会議員	S54年～H13年までの神奈川県六市競輪組合議会議員一覧	Excelデータ	一次提供	
高相地区農業共済事務組合議員	S62年～H14年までの高相地区農業共済事務組合議員一覧	Excelデータ	一次提供	
選挙一覧	S54年度～H30年度までの市長・市議会議員の選挙の投票状況一覧	Excelデータ	一次提供	
選挙結果	S54年度～H30年度までの市長・市議会議員の選挙結果一覧	Excelデータ	一次提供	
編年資料（市内及び国内のうごき）	S54年度～H30年度までの年表（①市内・国内外の出来事の年表、②社会・国際関係の出来事の年表）	Excelデータ	一次提供	
会議録目次（本会議、臨時会のみ）	S54年～H31年までの市議会会議録の目次部分を抽出	PDFデータ	一次提供	
東日本大震災1年間の取組	市発行：本市の東日本大震災後における取り組み記録	PDFデータ	一次提供	
政令指定都市移行10年の歩み（リーフレット）	政令市移行10周年の記念で作成した議会パンフレット	紙	一次提供	

議会開催日数・議案等審議件数	S54～H30年度の市議会開催回数・会期日数・開議日数、議案等審議及び結果件数一覧（暦年で区切り）	Excelデータ	二次提供	
議案等内容別件数	S54～H30年度の市議会議案等及び結果件数一覧（暦年で区切り）	Excelデータ	二次提供	
請願・陳情処理件数	S54～H30年度の請願・陳情の処理件数及び処理内容の内訳	Excelデータ	二次提供	
市議会議員	S54年度～H30年度の市議会議員一覧	Excelデータ	一次提供	
歴代議長、副議長	S54年度～H30年度の歴代議長・副議長一覧	Excelデータ	一次提供	
常任委員会委員	S54年度～H30年度の常任委員会委員一覧	Excelデータ	一次提供	
特別委員会委員	S54年度～H30年度の特別委員会委員一覧	Excelデータ	一次提供	
議会運営委員会委員	S54年度～H30年度の議会運営委員会委員一覧	Excelデータ	一次提供	
市長所信表明・施政方針	S55年～H31年までの市長の所信表明・施政方針の本文	Wordデータ	一次提供	
相模原市議会だより	市議会広報紙「さがみはら市議会だより」の縮刷版（～H16まで）	紙	一次提供	
相模原市議会だより	市議会広報紙「さがみはら市議会だより」の縮刷版（H17～H30まで）	PDFデータ	二次提供	
私たちの相模原 平成30年度版 市立中学校社会科副読本	相模原市の歴史が書かれた教育委員会作成の副読本	PDFデータ	二次提供	
相模原市議会Photo Library（議会史展示用スライド）10分でたどる80年の歴史	議会議事室前で行った議会史展示のために作成した写真資料。歴代議員の集合写真や視察等の活動写真をピックアップしている。	その他	二次提供	PowerPoint
政令指定都市へのあゆみ	市発行：政令指定都市に移行するまでの市のあゆみ	PDFデータ	二次提供	
一般質問	S54～H30年度の議員の一般質問内容（質問事項のみ）	Excelデータ	二次提供	
常任委員会開催日数	S54～H30年度の常任委員会開催日数（暦年で区切り）	Excelデータ	二次提供	
特別委員会開催日数	S54～H30年度の特別委員会開催日数（暦年で区切り）	Excelデータ	二次提供	
常任委員会の変遷	S54～H30年度の常任委員会の設立及び所管事項の変遷	Excelデータ	二次提供	
特別委員会設置の変遷	S54～H31年度の常任委員会の設立の変遷（期間、委員数等）	Excelデータ	二次提供	
会派所属議員推移	S54年度～H30年度の会派の人数や所属議員をまとめたもの	Excelデータ	一次提供	
市三役	S54～H30年度の歴代市長、助役（副市長）、収入役の一覧	Excelデータ	二次提供	
行政委員会委員等	S54～H30年度に議会から選出された各委員会委員の一覧	Excelデータ	二次提供	

『相模原市議会史 記述編』執筆要綱(案)

1 編集方針

- ・相模原市の幸せの実現に努めた先人議員の活動をわかりやすく伝える議会史を目指す
- ・国内外の社会情勢や地方自治制度の変遷を踏まえ、専門的見識と学術的妥当性を担保した議会史を目指す
- ・相模原市が直面した行政課題と議会の対応を多面的に描き、「主権者教育」に資する議会史を目指す
- ・公平性を確保して、未来へつなぐまちづくり指針となる議会史を目指す

2 記述対象年度

記述編 III

昭和 54 年度(昭和 54 年 4 月 1 日)から平成 10 年度(平成 11 年 3 月 31 日)まで5期 20 年

記述編 IV

平成 11 年度(平成 11 年 4 月 1 日)から平成 30 年度(平成 31 年 3 月 31 日)まで5期 20 年

3 構成

記述編 III

昭和 54 年度から昭和 57 年度までの 4 年間を「第 9 編」
昭和 58 年度から昭和 61 年度までの 4 年間を「第 10 編」
昭和 62 年度から平成 2 年度までの 4 年間を「第 11 編」
平成 3 年度から平成 6 年度までの 4 年間を「第 12 編」
平成 7 年度から平成 10 年度までの 4 年間を「第 13 編」
として編を区切る

記述編 IV

平成 11 年度から平成 14 年度までの 4 年間を「第 14 編」
平成 15 年度から平成 18 年度までの 4 年間を「第 15 編」
平成 19 年度から平成 22 年度までの 4 年間を「第 16 編」
平成 23 年度から平成 26 年度までの 4 年間を「第 17 編」
平成 27 年度から平成 30 年度までの 4 年間を「第 18 編」
として編を区切る

見出し立て

第〇編 〇〇 (界紙)

第〇章 〇〇 (改頁)

第〇節 〇〇 (追い込み)

I 〇〇〇〇 (追い込み)

小見出し(割り 2 行ゴシック見出し 6 文字以上折り返し均等割り)

4 執筆資料

執筆にあたっては、基本的には提供する資料をもとに原稿を作成する。
資料は、別添「提供資料一覧」を参照。

5 総則

- ①A5 判、9pt、34字詰め、26行どり（1頁884文字）、横組み
- ②文体は、常体「～である体」とする。
- ③敬称・敬語は原則使用しない。
- ④内容現在の区切りは年度（〇年4月1日～〇年3月31日）とする。ただし、平成26年度以降は通年議会となるため、1月を始点として考えるものとする。
- ⑤地名
 - ・歴史的地名はその下（次）に（ ）をして現市町村名等を記す。同一の歴史的地名が繰り返し使われる場合は（ ）内の現市町村名の表示は、節ごとの初出に限る。
 - ・津久井4町の表記は以下のとおりとする。
 - 合併前（城山町、津久井町、相模湖町、藤野町）
 - 合併後（旧城山町、旧津久井町、旧相模湖町、旧藤野町）
- ⑥条例名等
 - ・法律、条例、規則、政党及び会派等を略記する場合は、節ごとに初出の名称の下（次）に（ ）をして略称を記す。
 - ・条例等が新設の場合は「制定」と表記し、改正の場合は「〇〇条例改正」と統一する。
- ⑦引用文
 - ・原則、原典どおりとする。漢字、仮名遣いは、常用漢字および現代仮名遣いに換置。
 - ・現資料や図書・論文を直接引用して記述する場合は、引用部分は「 」で掲出。
 - ・改行の引用は、2字下げとし、本文より1P小さくする。
 - ・引用文の出典、新聞名を引用末尾に明示する。
 - 論文名、公共機関所蔵資料、雑誌名、紀要名は「 」、書籍名は『 』
 - ・資料引用文等の転居の表示方法
 - 公共機関所蔵史資料の場合（「神奈川県立図書館所蔵文書」）
 - 個人所蔵史資料の場合（「神奈川県尾崎家文」）
 - 新聞の場合（「神奈川新聞」平11.3.11）
 - 既刊本より引用の場合（『相模原議会史 資料編Ⅱ』）
 - 観光図書より引用の場合（『合併の記録』）
 - ・参考文献は巻末にまとめて掲示。
- ⑧図・表・写真の掲示規則は、編の番号と編ごとの通し番号を付す。
 - （例）第9編記述内で1つ目の表… 表9-1
 - 第13編記述内で9つ目の図… 図13-9

6 細則

・表記、用字用語

別途「用字用語のきまり」を作成する。

附 則

この要綱は、令和8年〇月〇日から施行する。

表記の統一基準

総則

- ◆本文中は、常用漢字（平成22年11月30日内閣告示第2号「常用漢字表」）を用いる
- ◆常用漢字表に示されている次の5字は、許容の異体字（略字）を用いない
餌 × 餌、餅 × 餅、遡 × 遡、遜 × 遜、謎 × 謎
- ◆熟語の表外字は開いて漢字仮名混じり表記とする。ルビは用いない
〔例〕 あっ旋 改ざん 橋りょう 平たん ばく大 まん延 り災者
- ◆常用漢字表に使える漢字があっても、細則で規定するのは仮名を用いる
⇒ 品詞規定
- ◆本文中は、現代仮名遣い（昭和61年7月1日内閣告示、一部改正 平成22年11月30日内閣告示）による
- ◆本文中の送り仮名は、送り仮名の付け方（昭和48年内閣告示第2号、一部改正 平成22年11月30日内閣告示第3号）による。ただし、細則で定める送り仮名の付け方は優先する

細則 品詞規定

◆名詞

- ・連用名詞（動詞の連用形から名詞化）のうち単独で用いる語は、送り仮名を送る
〔例〕 支払い 上がり 当たり「1反当たり」 おそれ「～となるおそれ」
- ・複合語の連用名詞は接頭の語の送り仮名を省く
〔例〕 打切り 食違い 繰延べ 取決め 取扱い 取消し 払下げ 繰越し
- ・複合語の連用名詞のうち、科目・費目などに使用する場合は、送り仮名を送らない
〔例〕 繰越（金） 借入（金） 積立（金） 払込（金） 払出（金）
- ・形式名詞（軽く意味を添える）は平仮名表記とする
〔例〕 うえ「～するうえで」 うち「～するうちに」 くらい「～に負けないくらいの」
ため「～するために」 とき「～するとき」 とおり「～のとおり」
ところ「～したところ」 もの「～したもの」 わけ「～するわけではない」
- ・頻出語の指定表記
〔例〕 あと（×後、跡、痕、址） 子ども（×こども、子供） ころ・ごろ（×頃）
ゼロ（×ぜろ、0） だれ（×誰） つぎ（×次） なか（×中） 一人ひとり
（×一人一人、ひとりひとり） 我が国（×わが国）
- ・常用漢字表の付表にある熟字訓は、漢字表記する
〔例〕 田舎（いなか） 大人（おとな） 仮名（かな） 昨日、今日、明日（きのう、きょう、あす） 果物（くだもの） 今年（ことし） 素人（しろうと）

梅雨(つゆ) 博士(はかせ) 二十歳(はたち) 上手、下手(じょうず、へた) 最寄り(もより) 木綿(もめん) 行方(ゆくえ)

◆副詞

・原則として、和語は平仮名表記、漢語は漢字表記とする

〈和語〉

〔例〕 あまり(～ない) あらためて いまだ おおむね おそらく きわめて
さまざま さらにすでにすべてただちに つぎつぎ(と・に)
なかなか ほとんど ますます まったく もっとも もっぱら
ようやく わずか

〈漢語〉

〔例〕 依然(として) 一向に(～ない) 一切 結局 早速 次第に
若干 多分 着々と 特に

〈例外〉

〔例〕 いちいち(「一一」は難読) いっせいに(「一斉〇〇」で熟語を作るときは漢字)
いっそう(名詞「一層」と使い分け) だいぶ(「大分」読み違い防止) ちょう
ど(複数表記から選択) 初めて(複数表記から選択) ついに(「遂」の表外
音訓)

◆動詞

・書き分けのある語は平仮名表記とする。ただし、連用形が単独で用いられる場合(⇒連用名詞)と複合動詞をつくる場合(⇒接頭語、複合動詞)は漢字表記とする

〔例〕 あける(×明ける、開ける、空ける) あげる(×上げる、揚げる、挙げる)
あてる(×当てる、充てる、宛てる) かける(×掛ける、懸ける、架ける)
こたえる(×答える、応える、徹える) たつ(×立つ、建つ、起つ、発つ)
つく(×付く、就く、着く、点く、突く) とる(×取る、採る、捕る、執る、
撮る、獲る、盗る) のぼる(×上る、昇る、登る)
はかる(×図る、測る、計る、諮る) みる(×見る、観る、視る、看る、診る)
わかる(×分かる、解る、判る)

・サ変動詞の「じる・ずる」は「じる」に統一する

〔例〕 案じる 応じる 準じる 生じる 報じる 命じる 論じる

・複合動詞は接頭の語の送り仮名は省かない

〔例〕 当て込む 打ち切る 切り替える 食い違う 差し出す 取り扱う
引き上げる 引き継ぐ 持ち越す

・補助動詞(軽く意味を添える)は平仮名表記とする

〔例〕 あげる「～てあげる」(「助けてあげる」)
いう「～という」(「相模原という名前の由来」)
いく「～ていく」(「歩いていく」)(※「いく」「ゆく」は「いく」に統一×「～てゆく」)

くる「～てくる」(「走ってくる」)

みる「～てみる」(「試してみる」)

- ・元の意味から離れた用法の場合は平仮名表記とする

〔例〕 もつ

ア) (元の意) 物理的に物をもつ、所有するなどを表す場合は 漢字表記とする

本を持つ 水筒を持つ 大金を持つ 家を持つ

イ) (転じて) 意識、感情、責任など見えないものを表す場合は 平仮名表記とする

夢をもつ 趣味をもつ かかわりをもつ 旅費は会社がかもつ

はこぶ

ア) (元の意) 物理的に物を動かす、比喩的に移動を表す場合は漢字表記とする

机を運ぶ 患者を運ぶ 足を運ぶ

イ) (転じて) 意識や物事が進むことを表す場合は 平仮名表記とする

審議が予定どおりにはこぶ 話がうまくはこぶ

- ・頻出語の指定表記

〔例〕 ある「ごちそうがある」 いる「兄がいる」 めざす「頂点をめざす」

できる「簡単にできる」

◆接続詞

- ・平仮名表記とする

〔例〕 そして および かつ したがって また または もしくは
つづいて ならびに しかし だが ところで ついては もしも

◆接頭語・接尾語

- ・接頭語は平仮名表記とする

〔例〕 さ迷う か細い か弱い お菓子 お粗末

- ・複合動詞(連用名詞)をつくる接頭語は漢字表記とする

〔例〕 食い(食い違う) 切り(切り取る) 取り(取り扱う)

- ・接尾語は平仮名表記とする

〔例〕 神さま 企業ら 議員ら 親密さ 楽しげ 久しぶり 私ども

◆形容詞

- ①語幹が常用漢字の語は漢字表記とする

〔例〕 新しい 美しい 悲しい

- ②語幹が常用漢字外の語は平仮名表記とする

〔例〕 はなはだしい おびただしい

◆形容動詞

- ①語幹が常用漢字の語は漢字表記とする

〔例〕 静か 同じ 奇麗 堂々

②語幹が常用漢字外の語と名詞との使い分けがある語は平仮名表記とする

〔例〕 ばく大 てき面 つまびらか いっぱい

③複合語は接頭語、接尾語のルールに準じる

〔例〕 久しぶり 当たり前

◆代名詞（人称代名詞、指示代名詞）

・人称代名詞は漢字表記とする

〔例〕 私 彼 彼女 僕 君（きみ） 我々

・指示代名詞は平仮名表記とする

〔例〕 あそこ ここ それ どれ

◆助詞、助動詞

・平仮名表記とする

◆固有名詞

・固有名詞に〈相模原市〉〈相模原〉がある場合の扱い

(1) 〈相模原市〉の場合、「市」のみ記載し「相模原」は省略する。

〔例〕 相模原市〇〇〇〇連絡協議会 ⇒ 市〇〇〇〇連絡協議会

(2) 相模原市以外にも同じ組織・団体等がある中で当市のものを指す場合は〈相模原市〉〈相模原〉を記載する

〔例〕 相模原市農業協同組合

・学校・保育園等の名称は次のとおりとする

〔公立〕

相模原市立〇〇小学校 ⇒ 〇〇小学校

相模原市立〇〇中学校 ⇒ 〇〇中学校

相模原市立〇〇保育園 ⇒ 〇〇保育園

神奈川県立〇〇高等学校 ⇒ 県立〇〇高等学校

〔私立〕

私立〇〇小学校 ⇒ そのまま

私立〇〇高等学校 ⇒ そのまま

私立〇〇幼稚園 ⇒ そのまま

・施設名称の新旧名称は次のとおりとする

施設名称の変遷による名称変更は、記述年代の名称を記し、必要に応じて新旧の名称を（ ）に記載する。記載する場合は「：」でつなぎ（現：）（旧：）の形で記載する

〔例〕 宇宙科学研究所（現：JAXA）
市立青少年学習センター（旧：青年の家）

・施設の所在地の記載について

(1) 名称に地域名が付いている場合はそのまま記載する

〔例〕 上溝小学校 橋本保育園
田名公民館 大沼児童館

(2) 名称に地名が付いていない場合は次のルールで記載する

(ア) 所在地が合併前の市内である場合は字名を記載する

〔例〕 青少年学習センター（矢部）
南市民ホール（相模大野）
相模原市民会館（中央）

(イ) 所在地が合併四町である場合は旧町名を記載する

〔例〕 市立公文書館（城山）

◆日時の表記

・年月日

和暦（西暦）年月日 ※「年」は（ ）の後に記載する 西暦は適宜補記する

〔例〕 昭和 60（1985）年 4 月 1 日
平成 1 年（×平成元年）

・年度

毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日まで

※農産物は生産年で表記するため 1 月から 3 月は新年度で表記

・時間

午前・午後表記とする

昼の 12 時は「正午」、夜の 12 時は「午前 0 時」とする

「正午」を「午後 0 時」とはしない

◆数の表記

・1 万以上は、「万、億、兆」の単位語を使用する

〔例〕 3 兆 98 億 2200 万円

・1 万未満は、「十、百、千」は使用せず位取り表記とする。位取りカンマ（,）は入れない

〔例〕 2980 円 3 兆 3498 億 2208 万 3498 円

・小数点は「.」を使用する

〔例〕 99.9 パーセント

・分数は〇分の〇の形で表記する

〔例〕 4 分の 3 10 分の 1

・範囲のある数値、概数は「～」「、」を使用する

文脈中で、その概数数値の重要度で次のように使い分ける

- ① 最も重要度の高い概数は、数値の両方に「億」「万」など単位語・「円」「人」など助数詞を記載

〔例〕 200万円～300万円 4万人～5万人

- ② 重要度の低い概数は、「円」「人」など助数詞は最後に記載

〔例〕 2～3000円 4～500人 ⇔ 2000～3000円 400～500人 ※いずれの表記か要検討

- ③ 最も重要度の低い概数は読点「、」でつないで「円」「人」など助数詞は最後に記載

〔例〕 2、3万円 4、5人

・数詞に付ける「か・ヶ・個・箇」は「か」に統一する

〔例〕 3か所 5か年

◆助数詞

人

- ① 人数を表す場合 → 人

〔例〕 3000人が参加 5人家族

- ② 人数+言葉として定着している語 → 名

〔例〕 3名連記

動物 … 匹、羽、頭

〔例〕 柴犬2匹 スズメ3羽 ウシ5頭

物品、物体 … 個

〔例〕 消しゴム1個 リンゴ3個 湯のみ5個

極めて小さい物品、物体 … 粒 ※「粒」に関しては1～2を漢数字で表記する

〔例〕 真珠3粒 コメ一粒（ひとつぶ） 二粒（ふたつぶ）

形の長い物品、物体 … 本

〔例〕 えんぴつ3本、1本の橋

平面的な物品、物体 … 面、枚

〔例〕 1枚の地図、ざるそば3枚、テニスコート3面

機械・器具・車両・固定した器具など … 台、基、両

〔例〕 カメラ2台、ガスタンク3基、戦車20両

船舶、航空機、人工衛星 … 隻、機

〔例〕 2隻のタンカー、5機の戦闘機、気象衛星1機

手に持って使う器具 … 丁

〔例〕 包丁1丁、

束ねたもの … 把、束 ※「把」に関しては10を漢数字、「束」に関しては1～2を漢数字で表記する

〔例〕 ホウレンソウ2把（にわ）、イネ3束（さんたば） ※十把（じっぱ） 一束（ひと

たば) 二束 (ふたたば)

建物、住居 … 棟、戸、軒

〔例〕工場3棟、停電100戸、商店が3軒

種類の異なる物品、物体を一括して数える場合 … 点、件

〔例〕テレビ、カメラなど10点、土地、建物など5件の登記

◆数字(数値)と言葉の書き分け

ゼロ歳児 → ×0歳児

二十四気、二十四節気 → ×二四気、二四節気、24気、24節気

五十音 → ×50音、五〇音

四捨五入 → ×4捨5入

四十九日法要 → ×49日法要、四九日法要

五十歩百歩 → ×五〇歩一〇〇歩、50歩100歩

20代 30代 → ×二〇代、二十代 三〇代、三十代

20歳代 30歳代 → ×二〇歳代、二十歳代 三〇歳代、三十歳代

20世紀 → ×二〇世紀、二十世紀

1980年代 2000年代 → ×一九八〇年代、一九八十年代 二〇〇〇年代

創立100年 → ×百年 ※行事名、書名では使用可

東京23区 → ×二十三区、二三区

◆主な単位の表記

ポイント … パーセント

長さ … キロメートル メートル センチメートル ミリメートル

速さ … 時速〇キロ メートル毎秒 ノット

重さ … トン キログラム グラム ミリグラム

容積・体積 … キロリットル リットル 立方メートル

面積 … 平方キロメートル 平方メートル ヘクタール アール

工率(仕事率) … キロワット ワット 馬力

光度 … カンテラ

照度 … ルクス

騒音 … デシベル

電流 … アンペア

放射能 … ベクレル

線量当量 … シーベルト

◆動植物の表記

① 原則、カタカナで表記する

〔例〕 サル、ニホンザル シカ イノシシ クマ ツキノワグマ
ハチ、ミツバチ、スズメバチ
カブトムシ クワガタ バッタ
スギ ヒノキ マツ イチョウ
アユ ニジマス イワナ コイ フナ
カラス ハト スズメ トンビ

② 一般名称として定着している動植物名および他の語と付いて複合名詞をつくる場合は、漢字表記とする

〔例〕 人 犬 猫 馬
馬小屋 猿害 鳥網 子犬(猫) 杉並木

③ 混ぜ書きが定着している動植物名はその一般的な表記とする

〔例〕 スギ花粉 イチョウ並木 桜並木 ハト小屋 猿追い イノシシ狩り

付 録 1

◆差別語、不快語

・心身の障害、病気

めくら → 目の見えない人、目が不自由な人・状態

おし → 口のきけない人、言葉が不自由な人・状態

つんぼ → 耳の聞こえない人、耳が不自由な人・状態

びっこ、ちんば、いざり → 足が不自由な人・状態、足に障害のある人

どもり → 発音が不自由な人・状態、吃音

きちがい（気違い）→ 精神障害者

不具、かたわ → 身体障害（者）、体が不自由な人・状態

廃疾、業病、不治の病 … 使用不適切

文盲 → 読み書きのできない人、非識字者

知恵遅れ、低能 → 知的障害、精神遅滞

精神病院 → 精神科（病院）、神経科（病院）

精神分裂病 → 統合失調症

植物人間、植物状態 … 人間を植物にたとえるのは尊厳を損なう表現であり、医学用語であつても使わないように気をつける

らい病 → ハンセン病

アル中 → アルコール依存症

・心身障害に関係する不適切表現

あきめくら ○○キチ（カーキチの類） 片ちんば 片肺飛行 片目が開いた
気違い沙汰 気違いに刃物 自閉症ぎみ つんぼ栈敷 めくら判 めくらめ
つぼう 盲目的

・職業

人夫 → 作業員

土方、土工 → 建設労働者、作業員

炭鋏夫、坑夫 → 炭鋏作業員、坑内員

漁夫 → 漁民、漁船員

馬丁 → 厩務員、馬取扱人

掃除婦（夫） → 清掃作業員

農婦 → 農家の女性、農村の女性

百姓、農夫 → 農民、農家の人、農業従事者

床屋 → 理髪業・店、理容師

バーテン → バーテンダー

サラ金 → 消費者金融
町医者 → 開業医
坊主 → 僧、僧侶、坊さん
小使い → 校務員、学校主事
あんま → マッサージ師・業
労務者 → ○○作業員
こじき → 物乞い
浮浪者 → ホームレス、路上生活者
穩坊 → 火葬場職員

・歴史的記述

女工 → 女性従業員
女中 → お手伝いさん
女給 → ウエートレス、(バー) 従業員、ホステス
産婆 → 助産師
企業戦士 → 猛烈社員

・身分

同和 … 単体では使用しない → 同和教育、同和行政、同和女性問題
特殊部落 → 被差別地区、被差別部落、同和地区
部落 … 使用不適切

・人種、民族、地域

後進国 → 未開国、低開発国、発展途上国
黒んぼ、ニグロ、ニガー → 黒人
毛唐 → 外国人、○○人
外人墓地 → 外国人墓地
肌色 → 薄だいたい、薄いオレンジ
○○族、○○部族 → ○○人、○○民族、○○系 ※中国の民族名は、現地表記に合わせ
「漢族、チベット族、ウイグル族、チワン族、朝鮮族」とする
アイヌ人 → アイヌ (民族)
インディアン … 使用可
インディオ … 使用可
エスキモー → イヌイット (カナダに暮らす人々の場合) ※カナダ以外や全体を示す場
合は、「エスキモー」でよい
ジプシー → ロマ、ロマ族 ※流れ者、放送者の意味で「ジプシー選手」などは不可、た
だし「ジプシー音楽」や音楽題名などは使用可

・アジアと日本

第三国、三国人 … 使用不適切

京城 → ソウル

朝鮮征伐 → 朝鮮出兵

帰化 → 国籍取得

帰化人 → 渡来人

支那そば → 中華そば

支那竹 → メンマ

・子ども

登校拒否児 → 不登校の児童・生徒

父兄会、父母会 → 保護者会

片親、欠損家族 … 使用不適切 ※「ひとり親」「母子家庭、父子家庭」と具体的に書く

私生子、私生児 … 使用不適切

混血児、合いの子 … 使用不適切

連れ子 … 使用不適切

・俗語、隠語、不快語

淫売、売女（ばいた） … 使用不適切

裏日本、表日本 → 日本海側、太平洋側

片田舎 → 田舎

強姦 → 女性暴行、性的暴行、乱暴 ※罪名、容疑名には使用

どさ回り → 地方巡業

足切り → 二段階選抜、門前払い

養老院 → 老人ホーム、老人養護施設、老人介護施設

スキンヘッド → 頭をそり上げた、そり頭

バカチョンカメラ → 簡易カメラ、軽量カメラ

・使用を避けたい隠語

いちゃもんをつける 落としまえ ガサ入れ ガンをつける（とばす） 狂言強

盗 けつをまくる サツ シマ スケバン ずらかる タタキ たれ込

み チャリンコ デカ ぱくる ホシ ブタ箱 ムショ ヤク やば

い

・ジェンダー平等

うぐいす嬢 → 場内アナウンス係、車上運動員

女史 → ○○さん

女優 → 俳優 ※「往年の大女優」など言い換えがきかない場合は「女優」を使う

婦警、婦人警官 → 女性警官

婦女子 → 女性と子ども、女性

未亡人、後家 → 夫を亡くした女性（注）「故○○さんの妻」のように具体的に書く
めかけ、二号、情婦、愛妾 … 使用不適切

・女性や男性をことさらに強調、特別扱いする不適切表現

いかず後家 売れ残り オールドミス 男なら泣くな 男勝り 女だてらに
女の浅知恵 女の腐ったような 女(男)のくせに 女の戦い 女は愛嬌男は度
胸 才媛 才女 才色兼備 職場の花 女傑 女丈夫 処女航海 処
女作品 出戻り 内助の功 夫唱婦随 女々しい

・気をつけなければならない表現

おかま、おなべ … 使用不適切

オネエ … 使用不適切

性転換 → 性別の変更

性転換手術 → 性別適合手術

ホモ → ホモセクシュアル、同性愛(者)

両刀遣い … 使用不適切

レズ → レズビアン、女性の同性愛者

付 録 2

◆登録商標の言い換え

あ行

- 味の素 → うま味調味料
- アロンアルファ → 瞬間接着剤
- 糸ようじ → 糸式ようじ、デンタルフロス
- ウイークリーマンション → 短期賃貸マンション
- ウォークマン → 携帯音楽プレーヤー
- ウォシュレット → 温水洗浄便座
- 写ルンです → レンズ付きフィルム、使い切りカメラ
- うどんすき … 使用可
- えびせん … 使用可
- エレクトーン → 電子オルガン
- オービス → 速度違反取り締まり装置
- オーロラビジョン → 大型スクリーン
- オキシフル → オキシドール

か行

- カッター（シャツ） → ワイシャツ
- カップヌードル → カップ麺
- 亀の子だわし → たわし
- カラーコーン → コーン標識、パイロン
- カルピス → 乳酸飲料
- キャタピラー → 無限軌道、走行用ベルト
- クッキングホイル → アルミホイル
- クリープ → インスタントクリーム、粉末クリーム
- クリーンヒーター → 温風ヒーター
- クレラップ → ラップ
- 形状記憶シャツ → 形態安定シャツ
- コカ・コーラ → コーラ飲料、清涼飲料水

さ行

- サランラップ → ラップ
- シーチキン → ツナ缶
- ジープ → ジープ型自動車、小型四輪駆動車
- シッカロール → 汗止めパウダー

ジッパー … 使用可
ジャグジー → ジェットバス、気泡風呂
シャチハタ → スタンプ型印鑑
シャワートイレ → 温水洗浄便座
少林寺拳法 → 中国武術、少林武術 ※日本発祥の派は除く
信州味噌 → 信州のみそ
スノーモビル → スノーモービル、小型雪上車
セスナ → 軽飛行機
セメダイン → 接着剤
ゼロックス → 複写機
セロテープ → セロハンテープ

た行

ダスキン → 化学雑巾
宅急便 → 宅配便
タッパー → (プラスチックの) 食品保存容器
タバスコ → ペッパーソース
弾丸ツアー → 弾丸旅行
チキンラーメン → 即席ラーメン
着メロ → 着信メロディー
チャッカマン → (使い切り) 多目的ライター
チャック … 使用可
デジカメ … 使用可
テトラポッド → 消波ブロック
テフロン → フッ素樹脂 (加工)
電気ブラン → リキュール
トランポリン → 跳躍器具 ※競技・運動名としては使用可
トリックアート → だまし絵、目の錯覚を利用した作品

な行

ナップザック … 使用可

は行

バスクリン → 浴用剤
ハモンドオルガン → 電子オルガン
パラゾール → 防虫剤
ハルシオン → 睡眠導入剤
パンタロン … 使用可
バンドエイド → ガーゼ付きばんそうこう

ヒロポン → 覚醒剤
ファミコン → (家庭用) テレビゲーム機
ファンタ → 清涼飲料
ブイシネマ、Vシネマ → ビデオ専用映画
ブッシュクリーナー … 使用可
プラモデル … 使用可
フラワーデザイナー → 生花デザイナー
プリクラ → 写真シール (作製機)
フリスビー → フライングディスク
ぺんてる → フェルトペン
ホーバークラフト … 使用可
ポカリスエット → スポーツドリンク
ホカロン → 使い切りカイロ
ポラロイド (カメラ) → インスタントカメラ・写真
ポリタンク … 使用可
ポリバケツ → プラスチックのバケツ
ポリバス … 使用可
ほんだし → 風味調味料
ボンド … 使用可

ま行

マジック (インキ、ペン) → フェルトペン
マジックテープ → 面ファスナー
万歩メーター、万歩計 → 歩数計、歩数メータ
ムース → 泡状整髪剤
メロディオソ → 鍵盤ハーモニカ

や行

ヤクルト → 乳酸菌飲料
UFO キャッチャー → クレーンゲーム機
ユンボ → ショベルカー、パワーショベル

ら行

ラジコン → 無線操縦 (装置)
ランドクルーザー (ランクル) → オフロード型四輪駆動車
リバノール … 使用可
ルービックキューブ → 六面立体パズル
ループタイ → つけネクタイ ※ひも状ネクタイとは別個の商品名。ひも状ネクタイの呼称には「ひもタイ」「ロープタイ」を使う

ルゴール液 … 使用可

レーザーディスク … 使用可

レゴ → (プラスチック製) ブロック玩具

ロボットスーツ → パワードスーツ、パワーアシストスーツ ※マッスルスーツも登録
商標

わ行

ワンカップ → カップ酒

付 録 3

◆外来語の書き方

- ・原綴の音と大きく異なる表記が固定化したもの

〔例〕 coffee → コーヒー studio → スタジオ handkerchief → ハンカチ radio
→ ラジオ

- ・新たに定着の傾向にあるもの

〔例〕 アイデンティティー エクササイズ

- ・和製英語

〔例〕 アフターサービス ナイター ペースアップ

- ・外来語の短縮形で固定化、定着化したもの

〔例〕 パソコン インフレ

- ・外国語起源でも古くから使われているものは、平仮名で表記する

〔例〕 たばこ かるた

- ・原則として「キ、エ、ヲ、ヂ、ヅ」は使わない

〔例〕 ウイスキー オデオン

〔例外〕 チヂミ

- ・原則「ヴァ、ヴィ、ヴ、ヴェ、ヴォ、ヴェュ」は「バ、ビ、ブ、ベ、ボ、ビュ」で表記する

〔例〕 ウェーブ ダイビング デリバリー バイオリン ベール ボーカル レビュー

- ・撥音「ン」は、原音ではっきりしているもの以外は省略する

〔例〕 コミュニケ サマータイム

〔例外〕 チャンネル ハンマー

- ・促音「ッ」は、原音ではっきりしているもの以外は省略する

〔例〕 スパゲティ ファクス ルクス ルネサンス

〔例外〕 アットホーム ルックス

- ・長音は、長音符号「ー」で表し、母音を重ねたり「ウ」を用いない

〔例〕 アーティスト (×アアーティスト) インストール (×インストゥール)

- ・二重母音の「エイ、オウ」は①長音での慣用が固定している語は長音符号「ー」で表す②母音で表記するのが一般的な語は「エイ、オウ」と表記する

① 〔例〕 オーナー クラスメート メーデー レーン (車線)

② 〔例〕 アンチエイジング デイサービス ノウハウ メイン

〔例外〕 ステンレス

- ・原綴の -er, -or, -ar などは、原則として、長音符号「ー」で表記する

〔例〕 オブザーバー レギュラー

〔例外〕 エンジニア ギア ジュニア

- ・原綴の -y は原則として、長音符号「ー」で表記する
〔例〕 アクセサリー レポートリー
〔例外〕 サンクチュアリ
- ・イ列、エ列の音の次の「ア」は「ヤ」とは表記せず「ア」と表記する
〔例〕 アカシア ウエア カナリア スペア リタイア
〔例外〕 カシミヤ タイヤ ロイヤルティー
- ・原音で「シェ、ジェ」の音は、慣用を除き「シェ、ジェ」と表記する
〔例〕 エージェント オブジェ ジェネレーション ジェントルマン
〔例外〕 エンゼル ゼネラル ゼリー
- ・原音で「テイ、デイ、テュ、デュ」の音は、慣用を除き「テイ、デイ、テュ、デュ」と表記する
〔例〕 オーソリティー コンディション パーティー プロデューサー
〔例外〕 コスチューム ジレンマ チューブ デジタル モチーフ
- ・原音で「フュ」の音は、慣用を除き「フュ」と表記する
〔例〕 フューチャー
〔例外〕 ヒューズ
- ・原音で「トゥ、ドゥ」の音は、「ト、ド」または「ツ、ズ」と表記する
〔例〕 ツーリスト ドライバー トレーナー トロフィー ヒンズー教
〔例外〕 タトゥー
- ・原音で「ウイ、ウエ、ウオ」の音は、①慣用が固定しているものは「ウイ、ウエ、ウオ」
②原音に近く表記する場合は「ウイ、ウエ、ウオ」と表記する
① 〔例〕 ウィット ウィンドー ウォーター ウォッチ ハイウエー
② 〔例〕 アウエー ウィンウィン ウェブ
〔例外〕 サンドイッチ スイッチ スイング スエット
- ・原音で「クア、クイ、クエ、クオ」の音は、「カ、キ、ケ、コ」または「クア、クイ、クエ、クオ」と表記する
〔例〕 イコール クイーン クォーター スクエア
〔例外〕 クォーク
- ・原綴語尾の -um は、「ウム」と表記する、特に元素名はすべて「ウム」とする
〔例〕 シンポジウム バリウム プルトニウム アルミニウム ラジウム
〔例外〕 スタジアム プレミアム モラトリアム
- ・原綴語尾が -ture の語は、原則として「チャー」と表記する
〔例〕 カルチャー ジェスチャー フィーチャー
〔例外〕 カリカチュア ミニチュア
- ・2語からなる複合語には、原則として語間に「・」をつけない
〔例〕 ウォーミングアップ セクシュアルハラスメント

〔例外〕シンガー・ソングライター チマ・チョコリ

・3語以上からなる複合語には、原則として語間に「・」つける

〔例〕ギブ・アンド・テイク ケース・バイ・ケース

〔例外〕アップトゥーデート

・片仮名の地名・人名の固有名詞と一般外来語とが複合する語は、その間に「・」を入れて
区別をつける、ただし固有名詞の意識が薄れている場合はこの限りではない

〔例〕ノーモア・ヒロシマ メード・イン・ジャパン

〔例外〕ディーゼルエンジン パリクラブ

・中国、台湾の地名、人名とも漢字で表記することを原則とする

〔例〕北京 広州 鄧小平 習近平 台北 賴清徳

・韓国・北朝鮮の地名、人名とも漢字で表記することを原則とする

※国名の「大韓民国」は「韓国」、「朝鮮民主主義人民共和国」は「北朝鮮」と略記する

〔例〕平壤 板門店 釜山 金大中 金正日

〔注〕「京城」は「ソウル」と表記する

・頻出外来語（カタカナ語）の表記

統一表記		使用不可	統一表記		使用不可
アイデア	×	アイディア	アンチテーゼ	×	アンチ・テーゼ
イニシアチブ	×	イニシャチブ	インセンティブ	×	インセンチブ
インフラ	×	インフラストラクチャー	インフレ	×	インフレーション
ウインウイン	×	ウインウイン	エコ	○	エコロジー
オーダーメイド	×	オーダーメイド	キャスティングボード	×	キャスティングボード
グラウンド	×	グラント	クローズアップ	×	クローズ・アップ
ケアマネジャー	×	ケアマネージャー	コラボレーション	×	コラボ
コンピューター	×	コンピュータ	シーリング	注	〔概算要求基準〕付ける
シェイプアップ	×	シェーブアップ	システムチック	×	システムティック
シミュレーション	×	シュミレーション	スクラップ・アンド・ビルド	×	スクラップアンドビルド
スモッグ	注	スモックは服	ソフトウェア	×	ソフトウェア
タックスヘイブン	注	〔租税回避地〕付ける	タッチ・アンド・ゴー	×	アッチアンドゴー
チューンアップ	×	チューンナップ	デイサービス	×	ディサービス
データ	×	データー	デフレ	×	デフレーション
ノウハウ	×	ノーハウ	パネリスト	×	パネラー
バリアフリー	×	バリアフリー	パンデミック	○	世界的大流行
マスタープラン	○	基本計画	モラル〔士気〕	注	モラル〔道徳〕
ランサムウェア	×	ランサムウェア			

付 録 4

◆参 考

都道府県名に用いる漢字で常用漢字表になかった 11 字と近畿の「畿」・韓国の「韓」の 2 字が常用漢字になった。

字種	音訓	専用	表内	表外
茨	いばら	都道府県名専用	茨城県 のみ	茨の道、茨姫 など
媛	エン	一般使用可	愛媛県 のみ 才媛 など	媛（ひめ）
岡	おか	都道府県名専用	岡山県、静岡県、福岡県 のみ	岡っ引き、岡持ち、岡目八目 など
韓	カン	地名専用	韓国 など	
畿	キ	地名専用	畿内、近畿 など	
熊	くま	一般使用可	熊本県、熊、白熊 など	
埼	さい	都道府県名専用	埼玉県 のみ	栃の木、栃餅 など
鹿	か・しか	一般使用可	鹿児島県、鹿の子、鹿 など	
栃	とち	都道府県名専用	栃木県 のみ	
奈	ナ	一般使用可	奈良県、奈落 など	
梨	なし	一般使用可	山梨県、梨、洋梨 など	
阪	ハン	地名専用	阪神、京阪 など 大阪府 のみ	阪路 など 阪（さか）
阜	フ	都道府県名専用	岐阜県 のみ	陰阜 など

付 録 5

〔間違いやすい表現〕

- (誤) 愛想を振りまく → (正) 愛嬌を振りまく、愛想がいい
- (誤) 合いの手を打つ → (正) 合いの手を入れる
- (誤) 明るみになる → (正) 明るみになる、明らかになる
- (誤) 悪評さくさく → (正) 悪評高い ※「さくさく」は褒めそやすさま「名声さくさく、好評さくさく」など
- (誤) 足蹴りにする → (正) 足蹴(あしげ)にする
- (誤) 足元をすくう → (正) 足をすくう
- (誤) 頭ごなしの外交 → (正) 頭越しの外交
- (誤) 頭をかしげる → (正) 首をかしげる、頭をひねる
- (台風の) 当たり年 → (正) 多い年 ※「当たり年」は収穫や利益の多い年、転じて縁起の良い年
- (誤) 雨脚が途絶える → (正) 雨がやむ
- (誤) あわや世界新 → (正) あと一步で世界新 ※「あわや」は何か良くないことが危うく起きそうな状態
- (誤) 怒り心頭に達した → (正) 怒り心頭に発した
- (誤) 石つぶて → (正) つぶて(投げられた小石の意) 「紙つぶて」は可
- (誤) 異存は出なかった → (正) 異議は出なかった、異存はなかった
- (誤) 一同に会する → (正) 一堂に会する
- (誤) 一抹の望み → (正) いちるの望み、一抹の不安
- (誤) 一生一代 → (正) 一世一代
- (誤) 嫌気がする → (正) 嫌気が差す、嫌気を起こす
- (誤) 上や下への大騒ぎ → (正) 上を下への大騒ぎ
- (誤) 受けに入る → (正) 有卦(うけ)に入る ※巡り合わせがよく幸運が続く意
- (誤) 薄皮を剥ぐように → (正) 薄紙を剥ぐように ※(病気が) わずかずつ良くなることのたとえ
- (誤) 裏舞台での交渉 → (正) 舞台裏での交渉
- (誤) 恨み骨髓に達す → (正) 恨み骨髓に徹す
- (誤) 上前をかすめる → (正) 上前をはねる
- (誤) 笑顔がこぼれる → (正) 笑みがこぼれる
- (誤) 屋上屋を重ねる → (正) 屋上屋(おく)を架する ※無駄なことを重ねてすることのたとえ

- (誤) 押しも押されぬ → (正) 押しも押されもせぬ、押すに押されぬ
- (誤) 汚名挽回 → (正) 汚名返上、名誉挽回
- (誤) 汚名を晴らす → (正) 汚名をすすぐ・そそぐ
- (誤) 重石を付けて沈める → (正) 重りを付けて沈める
- (誤) 女手(男手)一人で育て上げる → (正) 女手(男手)一つで育て上げる
- (誤) 垣間見せる → (正) のぞかせる、うかがわせる
- (誤) (酒樽の)鏡割り → (正) 鏡開き ※「鏡割り」は忌み言葉
- (誤) 風下にも置けぬ → (正) 風上にも置けぬ
- (誤) 喝采を叫ぶ → (正) 喝采を送る、快哉(かいさい)を叫ぶ
- (誤) 喝を入れる → (正) 一喝する、喝を食らわす
- (誤) カトリックの牧師 → (正) カトリックの神父 ※牧師はプロテスタントの聖職者
- (誤) 過半数を超える → (正) 半数を超える、過半数を占める、過半数に達する
- (誤) 髪を丸める → (正) 頭を丸める
- (誤) 間一発 → (正) 間一髪
- (誤) 間髪を置かず → (正) 間髪を入れず、時を置かず
- (誤) キジも飛ばずば撃たれまい → (正) キジも鳴かずば撃たれまい ※無用の発言をし
たばかりに災難を招くことのたとえ
- (誤) 疑心暗鬼を抱く → (正) 疑心暗鬼を生じる、疑心暗鬼になる
- (誤) 期待倒れ → (正) 期待外れ
- (誤) 肝に据えかねる → (正) 腹に据えかねる
- (誤) 櫛の歯が抜けるように → (正) 櫛の歯が欠けるように
- (誤) 口車を合わせる → (正) 口裏を合わせる、口車に乗る・乗せる
- (誤) 口先三寸 → (正) 舌先三寸
- (誤) 口をつむる → (正) 口をつぐむ
- (誤) 国敗れて山河あり → (正) 国破れて山河あり ※有為転変を嘆く感慨の文句
- (誤) 苦杯にまみれる → (正) 苦杯をなめる・喫する、一敗地にまみれる
- (誤) クモをちらすように → (正) クモの子を散らすように
- (誤) 煙に巻く → (正) けむに巻く
- (誤) けんけんがくがく → (正) かんかんがくがく、けんけんごうごう ※「けんけんごうごう(口やかましく騒ぎ立てるさま)」と「かんかんがくがく(正論を吐いて屈しないさま)」との混用
- (誤) 剣もほろほろ → (正) けんもほろろ
- (誤) 公算が強い・高い → (正) 公算が大きい
- (誤) 交通止め → (正) 通行止め
- (誤) 古式豊かに → (正) 古式ゆかしく
- (誤) 後手を踏む → (正) 後手に回る

- (誤) 古来から → (正) 古来
- (誤) 碁を指す → (正) 碁を打つ
- (誤) 酒を飲み交わす → (正) 酒を酌み交わす、盃(杯)を交わす
- (誤) Gパン → (正) ジーパン
- (誤) 時機(時期)を得た → (正) 時宜を得た ※時がちょうどよいこと
- (誤) 寺社仏閣 → (正) 神社仏閣、寺社
- (誤) 至上命題 → (正) 至上命令、最重要課題 ※絶対に従わなければならない命令や任務は「至上命令、重大使命」、どうしても達成しなければならない課題は「最重要課題」
- (誤) 射程距離に入る → (正) 射程(圏)内に入る
- (誤) 珠玉の大作 → (正) 大作 ※「珠玉」は長編や大きな作品には使わない
- (誤) 出血死 → (正) 失血死
- (誤) 将棋を打つ → (正) 将棋を指す
- (誤) 照準を当てる → (正) 照準を合わせる・定める
- (誤) 食指をそそる → (正) 食指が動く、食欲をそそる
- (誤) 知らなさすぎる → (正) 知らなさすぎる
- (誤) 白羽の矢を当てる → (正) 白羽の矢を立てる
- (誤) 素人はだし → (正) 素人離れ、玄人はだし
- (誤) 死んで花見がなるものか → (正) 死んで花実が咲く(なる)ものか ※死んでしまえばすべて終わりで、生きていてこそ良いこともある
- (誤) 酸いも辛いもかみ分ける → (正) 酸いも甘いもかみ分ける
- (誤) 姿をくらませた → (正) 姿をくらました
- (誤) 寸暇を惜しまず働く → (正) 寸暇を惜しんで働く、骨身を惜しまず働く
- (誤) 成功裏のうちに → (正) 成功裏に
- (誤) 製薬メーカー → (正) 製薬会社、薬品メーカー
- (誤) ゼッケン番号(ナンバー) → (正) ゼッケン
- (誤) 雪辱を晴らす → (正) 雪辱する、雪辱を果たす、屈辱を晴らす
- (誤) 背中が寒くなる → (正) 背筋が寒くなる
- (誤) 前者の轍を踏む → (正) 前車の轍を踏む
- (誤) 前門のオオカミ、後門のトラ → (正) 前門のトラ、後門のオオカミ
- (誤) 前夜来の雨 → (正) 夜来の雨、前夜からの雨
- (誤) 袖すり(振り、触れ)合うも多少の縁 → (正) 袖すり(振り、触れ)合うも多生の縁・他生の縁
- (誤) 第一日目 → (正) 第一日、一日目
- (誤) 多寡をくくる → (正) 高をくくる
- (誤) 縦穴式住居 → (正) 竪穴式住居
- (誤) 縦穴式石室 → (正) 竪穴式石室

- (誤) (旗が) たなびく → (正) はためく、翻る、なびく
- (誤) 駐日〇〇大使館 → (正) 在日〇〇大使館
- (誤) 積み残し客 → (正) 乗り切れない客
- (誤) デッドロックに乗り上げる → (正) 行き詰まる、暗礁に乗り上げる ※「デッドロック」は行き詰まるの意。Lock (錠) と rock (岩) との混同
- (誤) 出る釘は打たれる → (正) 出る杭は打たれる
- (盗品を) 転売した疑い → (正) 売った疑い、売却した疑い (注)「転売」は買ったものを売ることを指す
- (誤) 天罰が当たる → (正) 天罰が下る
- (誤) 取りつく暇もない → (正) 取りつく島もない
- (誤) 成さぬ仲 → なさぬ仲 ※義理の親子関係の意
- (誤) 苦虫をかんだような → (正) 苦虫をかみつぶしたような
- (誤) 二の句が出ない → (正) 二の句が継げない
- (誤) 二の舞いを繰り返す → (正) 二の舞いを演じる、二の舞いになる
- (誤) 濡れ手で泡 → (正) 濡れ手で粟
- (誤) 熱にうなされる → (正) 熱に浮かされる、夢にうなされる
- (誤) 眠気まなこで → (正) 寝ぼけ眼で
- (誤) 念頭に入れる → (正) 念頭に置く
- (誤) 排気ガス → (正) 排ガス、排出ガス
- (誤) 敗戦の将、兵を語らず → (正) 敗軍の将、兵を語らず
- (誤) (…と) 吐き捨てた → (正) 吐き捨てるように言った
- (誤) 働かずくめ → (正) 働きづめ
- (誤) (がんが) 発覚 → (正) 見つかる ※「発覚」は悪事などが明らかになる
- (誤) 鼻にもかけない → (正) 歯牙にもかけない、はな(涙)も引っかけない
- (誤) 歯に絹着せぬ → (正) 歯に衣(きぬ)着せぬ
- (誤) 腹が煮えくり返る → (正) はらわたが煮えくり返る
- (誤) 被害を被る → (正) 被害に遭う、損害を受ける
- (誤) 人質を釈放 → (正) 人質を解放
- (誤) ひと段落 → (正) 一(いち)段落
- (誤) 一つ返事で引き受ける → (正) 二つ返事で引き受ける
- (誤) 人を借り(狩り)集める → (正) 人を駆り集める ※急いで集める意
- (誤) 火ぶたを切って落とす → (正) 火ぶたを切る ※「幕を切って落とす」との混用
- (誤) 日を夜に継いで → (正) 夜を日に継いで、日に夜を継いで
- (誤) 貧すれば通ず → (正) 窮すれば通ず(困窮して行きつくところまで行くと案外何とかなる意)、貧すれば鈍する(貧乏すると心までも卑しく、才覚に乏しくなる)
- (誤) 不測の事態を予想して → (正) 万一の事態に備えて

- (誤) 符丁を合わせたように → (正) 符節を合わせたように ※中央に証印を押して二つに割った札を合わせたようなさま
- (誤) 物議を呼ぶ → (正) 物議をかもす
- (誤) (バレエの) プリマドンナ → (正) プリマバレリーナ ※「プリマドンナ」はオペラの女性主役
- (誤) 下手な考え休むに似たり → (正) 下手の考え休むに似たり ※知恵のない人が考えるのは時間をむだにするだけでなんの役にもたたない
- (誤) (国会で) 法案が成立 → (正) 法が成立
- (誤) 凡ヘッド → (正) ボーンヘッド
- (誤) まだ未解決 → (正) 未解決、まだ解決していない
- (誤) 的を得た指摘 → (正) 的を射た指摘、当を得た指摘
- (誤) まなじりをつり上げる → (正) まなじりを決する ※怒りや決意を表わす表情
- (誤) 眉をしかめる → (正) 眉をひそめる、顔をしかめる
- (誤) 満天の星空 → (正) 満天の星
- (誤) 満面に笑顔 → (正) 満面に笑み
- (誤) 見かけ倒れ → (正) 見かけ倒し
- (誤) 水かさが高くなった川 → (正) 水かさが増した川、水位が高くなった川
- (誤) 三日とあけず芝居見物 → (正) 三日に上げず芝居見物 ※三日とたたないうち
- (誤) 無実を晴らす → (正) 無実の罪を晴らす、無実を証す
- (誤) 無尽蔵に使う → (正) 際限なく使う ※「無尽蔵」はいくら取っても尽きないとの意
- (誤) 胸先三寸に納める → (正) 胸三寸に納める
- (誤) 目をひそめる → (正) 眉をひそめる
- (誤) (著作を) 物にする → (正) (著作を) 物する ※「物する」はあることをする(特に文章、詩などを書く、作る)の意
- (誤) やおら飛び出す → (正) 急に飛び出す ※「やおら」は「おもむろに、静かに」の意
- (誤) 矢折れ刀尽きる → (正) 刀(弓)折れ矢尽きる、矢尽き刀折れる
- (誤) 約10分ほど → (正) 約10分、10分ほど
- (誤) (～した) 矢先 → (正) (～する、～しようとする、しようとした) 矢先
※「矢先」は事が始まろうとする直前の意
- (誤) 弓矢を引く → (正) 弓を引く
- (誤) 善きにつけ悪きにつけ → (正) 善きにつけあしきにつけ
- (誤) 余分なぜい肉 → (正) 余分な肉
- (誤) 寄る年には勝てぬ → (正) 寄る年波には勝てぬ
- (誤) 弱気を吐く → (正) 弱音を吐く

- (誤) 李下に冠を正す → (正) 李下に冠を正さず
 (誤) 離発着 → (正) 離着陸、発着
 (誤) 溜飲を晴らす → (正) 溜飲を下げる
 (誤) 連綿と地位にしがみつくと → (正) 恋々と地位にしがみつくと ※「連綿」は途切れな
 いさま、「恋々」は未練がましいさま
 (誤) 老体にむち打つ → (正) 老骨にむち打つ
 (誤) 論議を醸(かも)す → (正) 物議を醸す、論議を呼ぶ
 (誤) 論戦を張る → (正) 論陣を張る、論戦を挑む
 (誤) 論を待たない → (正) 論をまたない
 (誤) Yシャツ → (正) ワイシャツ ※「ワイシャツ」は「ホワイトシャツ」の略
 (誤) わだちの跡 → (正) 車輪の跡、わだち

〔用法注意の表現〕

- 青田買い 稲が実る前に収穫を見越して買上げ予約することから転じて、会社などが卒業のはるか前に学生の採用を決めること ※肥料・飼料用に作物を未成熟のうちに刈り取るのは「青刈り、青田刈り」
 潔しとする 「潔しとしない」の誤用
 諫める(いさめる) 「諫める」は目下の者が目上に忠告すること
 一姫二太郎 子育ては初めが女で二番目が男が理想的という意 ※女一人に男二人ということではない
 後ろ倒し できるだけ「先送りする、遅らせる」などに言い換える
 おもむろに立ち上がる 「おもむろに」は落ち着いて動くこと ※「急いで、不意に」の意味で使うのは誤り
 気が置けない人 遠慮・気兼ねのいらぬ人の意 ※油断できない、気が許せないの意味に使うのは誤り
 暮れなずむ 日が暮れそうでなかなか暮れない状態 ※「ようやく暮れなずんできた」などは誤り
 呉越同舟 敵同士、仲の悪い者同士がたまたま同じ場所に居合わせる場合に使う ※単に異質の者が一緒になる場合には使わない
 ～さ(円熟さ、積極さ など) 接尾語の「さ」は形容詞、形容動詞の五感について名詞をつくる ※「円熟」「積極」に付くのは誤り「円熟味」「積極性」などとする
 里帰り ※美術品などが一時的に戻るときには「里帰り」を使えるが、永久返還などの場合は不適當
 さわり 音楽の聞かせどころ、劇や小説などの見せ場、中心、最も興味を引く部分の意

※出だし、最初の部分の意で使うのは誤り

ざんきに堪えない 自分の行為を恥じること。 ※他者の行為について使うのは誤り

敷居が高い 本来は、不義理をしたり面目ないことがあったりして、その人の家に行きにくいこと ※俗用として、高級・上品過ぎて手を出しにくい、ハードルが高いの意味で使われることがある

私淑 面識のない人を著作などを通じて師と仰ぐこと ※直接指導を受けた人に使うのは誤り

(パンダが) 死亡 人間の場合に使う語 ※動物には使わない

順延 順繰りに日を延ばすこと ※二日以上伸ばす場合は使わず「延期」などとする

準備万端 「万端」は全ての事柄 「整う」の意味はないため「準備万端」だけでは意味をなさない ※「準備万端整う」や「準備万全」などにするのが望ましい

住めば都 住み慣れれば、どんな土地でも住み心地が良くなるの意 ※住むなら都会の意味に使うのは誤り

寸断 「寸断」はずたずたに断ち切ること ※土砂崩れなどで1か所だけ道路が通行止めになっているようなケースにはふさわしくない

世間擦れ 実社会でもまれて悪賢くなっているという意 ※世の中の考えから外れていることではない

大寒の入り 大寒(1月20日ころ)は二十四節気の一つで一日だけをいう ※「大寒の入り」は使わない。「寒の入り(小寒=1月6日ころ)」は使ってよい。「寒中」は小寒から節分(立春の前)までをいう

帯同 連れていくこと ※「付いていくこと」と混同されやすい。できる限り「同行」に言い換える。「遠征に帯同させる」よりも「遠征に同行させる」のほうが望ましい

他山の石 他人のつまらない言行でも、自分の知徳を磨くための参考にするという意 ※他人の立派な言行を良い手本にする意味では使わない

他力本願 浄土門で阿弥陀仏の本願によって救済されるの意 ※比喻の、他の力を当てにする意味では使わない

追撃 敗走する・劣勢にある敵を追いかけてさらに攻めることが本来の意 ※逃げる・先行する相手を追い上げる場合は「猛追、追い上げ」などとする

つとに 「以前から、早くから」の意 ※「特に、非常に」の意味に使うのは誤り (AはBの) 敵ではない Bが強過ぎ、Aが弱過ぎるの意 ※逆の意味で使うのは誤り

同級生 同じクラスの場合のみに使う ※クラスが違う場合は「同学年」とする

鳥肌が立つ 恐ろしさや寒さのために皮膚がざらつく状態を指すのが本来の意 ※感動・興奮の表現として用いられるようになってきたが、使用は慎重にする

情けは人のためならず 善いことをすればよい報いがあるという意 ※情けはその人のためにならないといった解釈は誤り

名前負け 名前が立派過ぎて実物が見劣りする意 ※相手の名前に圧倒される意味

で使うのは誤り

煮詰まる 議論や意見が出尽くして結論を出す段階になること ※行き詰まるという
意味ではない

破天荒 これまでなし得なかったことをすることで、未曾有と同義。近年意味が拡大し、
豪快で大胆な人の様子を表す場合にも使われる

はなむけ 卒業や旅立ちなど送別の際に贈る言葉や金品 ※「社長が新入社員にはな
むけのあいさつ」「亡き父へはなむけのホームラン」などは誤り

ふりの客 なじみがない客のこと。いちげんなどの意。

役不足 本来、役者が自分の役を不足として不満を言う意 ※「荷が重い、大役過ぎる、
力不足」などの意味に使うのは誤り

以上

議会史記述編 原稿作成ワークフロー（案）

